

# 平成 20 年度 収 支 予 算

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

収支予算(案)の編成に当たって

収支予算書(案)

社団法人 全国大学体育連合

平成 20 年 3 月 22 日

## 収 支 予 算 ( 案 ) の 編 成 に 当 た っ て

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

新会計基準に準拠した予算案の作成に務めた。当期収支の均衡を原則とするが、経常的な事業以外の時限的な事業については、前期からの繰越金で対応することとした。平成 20 年度の収支予算(案)の要点は以下の通りである。

### 事業活動収支の部

#### 1. 事業活動収入について

##### 基本財産運用収入

基本財産引当預金(1,500万円)の平成19年度精算時点での運用実績を踏まえ、37,400円を見積もった。

##### 特定資産運用収入

平成20年度に「その他固定資産」としていた定期預金570万円を「事業運営積立資産(特定資産)」に計上することから、当該定期預金分の受取利息を特定資産運用収入に計上した。具体的には平成19年度精算時実績を踏まえ、20,000円を計上した。

##### 入会金収入

平成19年度精算時実績90,000円を踏まえ、若干減を予想し、70,000円を計上した。

##### 年度会費収入

正会員会費収入を平成18年度末の会員数及び平成19年度における会員数の推移から、平成20年度は現状より若干減少することを予想し、22,320,000円を見積もった。賛助会費収入は賛助会員募集キャンペーンを実施することから、賛助会員5件(25万円)を見積もった。その結果、合計22,570,000円を計上した。

##### 事業収入

機関誌等の広告収入として、前期決算実績を踏まえ20,000円を見積もり計上した。

##### 雑収入

受取利息収入は普通預金、定期預金の精算時実績を踏まえ、26,000円を見積もった。

##### 他会計からの繰入越金収入

平成18年度から教材ビデオの販売停止、刊行物等実費頒布の停止により収益事業を撤退している。よって他会計からの繰入越金収入の予算は計上していない。

## 事業活動収入合計

以上の結果、事業活動収入合計は 22,743,400 円となり、前期に比して 75,300 円の減となっている。

## 2. 事業費支出について

### 事業費支出

#### 1) 一般運営費支出

「機関誌『大学体育』発行費支出」は、他の広報・情報媒体との差異や関連性を考慮し、誌面の内容精選と意匠等の改善に努めることから、前期より 230,000 円増額し、1,580,000 円を計上した。

「論文誌『大学体育学』発行費支出」は、査読料を削減することで前期より 20,000 円減額し、400,000 円を計上した。

「会員増強費支出」は前期に引き続き新規会員加入促進を行うこととし、ポスター等印刷は前期に作成した印刷物を使うことから 60,000 円減額し、140,000 円を計上した。

「FD 評価関係費支出」は、前期まで「印刷製本費」に計上されていた、FD 調査用紙の印刷費を含めたため、22,000 円増額となり、374,400 円を計上した。

「図書刊行費支出」は、前期決算実績を考慮し、50,000 円減額した 30 万円を計上した。

「シンポジウム開催費支出」は日本体育学会企画委員会との共催シンポジウムを開催することとし 500,000 円を計上した。

「体育指導教材作成準備費支出」は、前期決算実績を考慮し、減額して 416,000 円を計上した。

「表彰関係費支出」は、減額して 163,000 円を計上した。この科目には、前期では「印刷製本費支出」に計上していた、表彰関連ポスター印刷の費用等が含まれる。また教育賞・奨励賞受賞者への交通費は削減した。

「ホームページ関係費支出」は会員専用ページの新設、アンケート入力システムの新設等の経費を増額し、246,400 円を計上した。

「大学体育資料作成費支出」は前期からの新規事業で今期は 620,000 円を計上した。

「資格研修会費支出」は今期からの新規事業で 2,810,000 円を計上した。

「会議費支出」は、資格研修会など新規事業に伴う会議の増加を踏まえて、313,950 円に増額して計上した。

「旅費交通費支出」は中央研修会への各部会からの派遣費用を「研修事業費支出」に移行したことから 470,200 円に減額して計上した。この科目には、取材交通費、部会・委員会開催に伴う交通費が含まれる。

「印刷製本費支出」は、事業に関わるポスター印刷、調査用紙印刷等を当該事業費支出科目に移行したことから、減額して 18,000 円を計上した。この科目には部会・委員会資料等の印刷費が含まれる。

「給料手当支出」は、大体連運営にかかわる事務職員給与であるが、現事務職員の退職

にともなう引き継ぎ業務等のため、増額して 2,150,000 円を計上した。

「通信運搬費」は前期決算実績を考慮し、減額して 735,000 円を計上した。

「図書費支出」は前期決算実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

「消耗品費支出」、「雑支出」は前期決算実績を踏まえて減額して計上した。

## 2) 研修事業費支出

「研修会補助金支出」は前期と実施形態が変わらないことから、前期と同額を計上した。

「研修会調査準備費支出」は中央研修会主管支部にその調査準備に補助するものであり（前年度 80,000 円、当該年度 150,000 円）前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」は中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であるが、前期決算実績を考慮し、前期と同額を計上した。

「研修会企画調整費支出」は、当期より中央研修会の事前調査に限定し、中央研修会の運営調査は「中央研修会費支出」に移行したため、減額して 60,000 円を計上した。

「中央研修会費支出」は、中央研修会の運営調査に関わる費用、各部長の派遣に関わる経費であり、前期までは「旅費交通費支出」や「研修会企画調査費支出」として計上されていたものを移行した。当期は、900,000 円を計上した。

「支援補助金支出」は前期と同額を計上した。

## 3) 研究調査費支出

「研究助成費支出」、「図書費支出」、「消耗品費支出」は前期と同額を計上した。

「検討会議費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 16,800 円を計上した。

「旅費交通費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 40,600 円を計上した。

「印刷製本費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 30,000 円を計上した。

「通信運搬費支出」は、従来調査対象としていなかった非会員校を対象に加えて資料収集を行うため、増額して 88,400 円を計上した。

「研究調査雑給費支出」は非会員校への資料収集に伴う調査件数の増加から、増額して 96,000 円を計上した。

## 4) 支部補助金支出

支部補助金支出は前期と同額を計上した。

## 5) 国際交流費支出

「国際会議費支出」は国際会議会費に係わる費用で、当期は ICHIPER・SD、及び ICSSPE 分として 4,500 円増額し 49,500 円を計上した。

「海外研修費支出」は ICHPER・SD 派遣に係わる費用で当期は 180,000 円を計上した。

## 管理費支出

「給料手当支出」は大体連運営にかかわる事務職員給与の経費及び監査経費の 2,210,000 円を計上することとした。

「臨時雇賃金支出」は現事務職員の退職にともなう引き継ぎ業務のため、増額して 110,000 円を計上した。

「顧問報酬費支出」は、当期は役員改選時期に当たらず、登記書き換え業務が減少することから、前期に比し 42,000 円を減額し 460,000 円を計上した。

「総会・理事会費支出」は、前期決算実績をもとに、800,000 円を計上した。この小勘定科目には、総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

「会議費支出」は、当期は役員改正のための推薦委員会および公益法人更新に関わるプロジェクトを開催することから、340,900 円に増額して計上した。

「旅費交通費支出」は推薦委員会、公益法人プロジェクト開催の交通費を計上した。また、中央研修会への総務部長派遣費用を「研修事業費支出」に移行した。以上より、増額して 739,200 円を計上した。

「印刷製本費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 270,000 円を計上した。

「通信運搬費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 400,000 円を計上した。

「賃借料支出」は在庫書籍の整理によりトランクルーム借用経費が減少したこと、今期は事務所更新手数料が発生しないことなどから 160,000 円を減額し、1,330,000 円を計上した。

「図書費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 20,000 円を計上した。

「光熱水科費支出」は前期決算実績を考慮し、減額して 66,000 円を計上した。

「諸謝金支出」は公益法人プロジェクトのため当期は 100,000 円を計上した。

「租税公課支出」は精算時実績を考慮し、前期と同額を計上した。

「慶弔費支出」、「消耗品費支出」、「消耗什器備品費支出」、「雑支出」は前期決算実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

## 他会計からの繰入越金支出

他会計からの繰入金収入と同様に、他会計からの繰入金支出の予算は計上していない。

以上の結果、当期の事業活動支出の合計は 26,450,030 円となり前期に比して 3,449,330 円の増となっている。

### 投資活動収支の部

投資活動収支の部は新会計基準に準拠して新たに設けた項目である。前期まで「その他の固定資産」としていた定期預金 5,700,000 円を「事業運営積立資産」に計上した。

### 予備費支出

当期は 15,633,370 円を計上した。前期に比して 355,370 円の減となっている。

### 前期繰越金収支差額

前期精算時点の見込み額である 19,340,000 円を計上した。

### 当期の収支

#### 1) 事業費支出と管理費支出の比率

予備費を除いた当期支出合計の 26,450,030 円に対して、事業費支出の 19,373,930 円は 73%、管理費支出の 7,076,100 円は 27%となっている。

#### 2) 当期収支の差

当期の事業活動収入合計は 22,743,400 円、予備費を除く当期の事業活動支出合計は 26,450,030 円であり、差引 3,706,630 円の支出超となった。

以 上